

## 団塊世代が考える「本格リタイア時期」と6つの「したい生活像」

株式会社電通 電通シニアプロジェクトでは、首都圏の団塊世代 666 人に対して、60 代後半に焦点を当てた緊急アンケート調査で、「したい生活像」や「実現見通し」を尋ね、60 代後半から始まる団塊世代の「真のリタイア・ライフ」を探りました。

そして、2007 年 5 月 17 日に電通シニアプロジェクト「退職後のリアル・ライフⅢ～団塊世代の願望調査」～団塊世代が考える「本格リタイア時期」と6つの「したい生活像」～と題して発表されました。

それによれば、改正高年齢者雇用安定法(以下「改正高齢法」といいます。)に基づく高齢者雇用確保措置の導入によって 60 歳定年後も「会社で働き続ける」という選択肢が生まれた結果、定年後の 60 代前半も引き続き働くことを選択する人が多くなることは確実で、「定年＝リタイアライフのスタート」の常識は崩れつつあります。また、とかく一括りにされる団塊世代ですが、約 680 万人(1947～49 年生まれ)もいる彼らには、当然ながら様々な顔が存在し、「団塊世代」と一括りにされることに違和感を覚える人もいます。

今回は、株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報室 発行の発表資料(NEWS RELEASE)に沿って、60 代後半から始まる団塊世代の「真のリタイア・ライフ」をご紹介します。

また、この調査によれば、“アクティブ”など一括りにされやすい団塊世代ですが、60 代後半の生活志向性の違いから、「6 つのシニアライフスタイル・グループ～全方位アグレッシブ派・にぎやか生活派・海外志向派・社会貢献派・スローライフ派・面倒回避派～」の存在が発見されとのこと。

### ■ 65 歳前後が本格的リタイア・ライフの実質的スタート

1. フルタイムで働くは 7%に留まる。  
⇒ 昨年の調査では 60 代前半には 77%が働くことを選択し、そのうち 47%はフルタイムを希望。
2. 60 代後半にしたい生活は、「私生活の充実」が基本で、仕事を望む人は 30%以下。
3. 「のんびり&シンプル」、「夫婦・家族の時間」、「エンジョイ旅行&お出かけ」ライフが主流。

### ■ 60 代後半の「したい生活像」のベスト4

1. 健康を維持:93.7%
2. 旅行を楽しむ:93.4%
3. のんびり過ごす:92.5%
4. 経済的に豊かな生活:90.1%

### ■ 60 代後半の「したい生活像」のうち、働きたい割合

1. 今の職場で働く:29.2%
2. 新しい職場で働く:25.3%
3. 起業:18.1%

### ■ 60 代後半の願望と実現見通しのギャップ

<したい生活とその実現見通し>

1. 経済的に豊かな暮らし:願望 90% ⇒ 実現見通し このうち 39%
2. 自由きままな生活:願望 80% ⇒ 実現見通し このうち 55%
3. 仕事以外のやりがいに打ち込む:願望 90% ⇒ 実現見通し このうち 39%

60 代後半のしたい生活とその実現見通しでは、上記のように大きなギャップが見られ、60 代前半のリタイアモラトリアム期には、このギャップから独立・起業などの新しいビジネスチャンスが生まれそうです。

<暮らす場所>

1. 田舎に暮らしたい:願望 40% ⇒ 実現見通し このうち 39%
  2. 海外に移住したい:願望 19% ⇒ 実現見通し このうち 23%
- 実現見通しが総じて低いのが顕著です。

<主な願望ごとの実現の第一位の阻害要因>

- ・経済的に豊かな暮らし ⇒ 経済力
- ・新しいことに挑戦する ⇒ 気力
- ・田舎暮らし ⇒ 配偶者&経済力
- ・いろいろな趣味を楽しむ ⇒ 気力&経済力

読者の皆様はお気づきと思いますが、改正高齢法に基づく高齢者雇用確保措置の導入によって、60歳定年後も「会社で働き続ける」という選択肢が生まれた結果、定年後の60代前半も引き続き働くことを選択する人が多くなることは確実で、もはや「定年＝リタイアライフのスタート」の常識は通用しなくなってきました。

昨年の調査では、60代前半には77%の人が働くことを選択し、そのうち47%の人はフルタイムで働くことを希望していました。ところが、今回の調査では、フルタイムで働く人は7%に留まり、60代後半にしたい生活は、「私生活の充実」が基本で、仕事を望む人は30%以下という結果でした。そして、「のんびり&シンプル」、「夫婦・家族の時間」、「エンジョイ旅行&お出かけ」ライフが主流でした。

しかし、60代後半の願望と実現見通しに大きなギャップが見られ、60代前半のリタイアモラトリアム期には、このギャップの解消のため、新しい方向性を探ることが必要不可欠になるように予測されます。主な願望ごとの実現の第一位の阻害要因が、「気力」、「経済力」、「配偶者」に集約されていることに鑑みても、「暮らしに夢を見るのは男性、冷めているのは女性と男女間のギャップがくっきり。」という男女の特徴差を効果的に組合せ、何事も夫婦でという姿勢や意識でブレンドし、自己の可能性を追求する費用を夫婦の自助・独立で確保するエネルギーを育むことが肝要ではありませんか。

<引用資料>

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報室 発行  
平成19年5月17日付 NEWS RELEASE

電通シニアプロジェクト「退職後のリアル・ライフⅢ～団塊世代の願望調査」  
～団塊世代が考える「本格リタイア時期」と6つの「したい生活像」～

ネットショップに関するご相談・ご質問をお持ちのお客様は、いつでもお気軽にご連絡下さい。

**中央総合ビジネスサービス株式会社**

〒104-0043 東京都中央区湊1丁目12番8号 リンガビル 5F

TEL 03-6411-4509 TEL & FAX 03-6411-4534

<http://www.cgbs.jp> (CGBS ネットショップ営業部門)

E-mail: [takahashi@cgbs.jp](mailto:takahashi@cgbs.jp) (Sales Direct)